

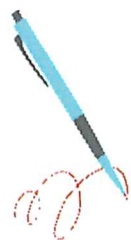
「ASTONE通信」

第167号

2022年2月21日発行



担当：朝倉 佐代子



☆新聞コラムの書き写し☆

文章を読み取る力が付き、社会の出来事や時代の流れも自然と身に付く、と言われて

いる『新聞コラムの書き写し』

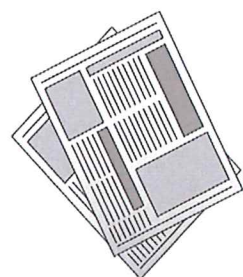
私も数年前から始めました。



複数の記者がコラムを担当しているため、日によって「読みやすい」「読みづらい」と感じる事もあります。

又読む人によって感じ方はさまざまですが「堅い言い回しで書かれたコラム」だったり「話し言葉のようにすんなりと心に入ってきてくれるコラム」などもあります。

読解力がついてくると様々な文章が読める様になってくるのも新聞コラム書き写しの魅力です。



◆ ノートに書き写す

新聞コラムの中に段落のマーク（▼など）がついていますが、そのマーク（▼など）も書き、段落を意識しながら書き写します

◆ 分からない言葉や漢字を調べる

分からない言葉を辞書やネットで調べたり、読み方や書き方が分からない漢字を調べ書く練習をする

書き写し効果

- ✎ 毎日の社会情勢や出来事を知る事ができ、コミュニケーションにも役立つ
- ✎ 文章を読み取る能力が身につく
- ✎ 忘れかけた漢字や言葉を思い出す
- ✎ 分からなかった漢字や言葉を学ぶ機会になる
- ✎ 続けることで、プロの記者が書いた500～600字程の文章の構成や、句読点の打ち方が身につく
- ✎ 字を書く機会が少ない人は字を書く習慣にもなる
- ✎ 字を書くのが早くなる

終わりに・・・

ノートにはコラムを書き写すだけでなく、分からない言葉や漢字を調べ確認する工程をプラスすると、たくさんの知識や語彙を身につけることもできます。

このように、新聞コラムはただ読んで書き写すだけではなく、多くのことを学ぶきっかけにもなります。

みなさんも、『新聞コラムの書き写し』一度されてみてはどうですか？

＊「今月の名言」・・・「奪い合えば足らぬ」が「分け合えばあまる」！

朝倉商事株式会社

